

平成22年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題の指定について

平成22年3月25日
総合科学技術会議

平成22年度科学技術振興調整費による「重要政策課題への機動的対応の推進」
課題として、下記の課題を指定することとする。

課題名	内容	担当府省等
社会還元加速プロジェクトに係る調査研究	総合科学技術会議を中心として、社会還元加速プロジェクトを効果的に遂行していくため、国内外の関連する技術・法律等の最新の動向や、プロジェクトを推進する上で必要となるシステムとその効果の評価方法等、プロジェクト推進の基礎となる調査研究を行う。 (実施予定期間 平成22年度)	内閣府
医療情報の集約化とネットワーク化による臨床研究の加速に関する調査研究	複数の医療機関をつないだ医療情報ネットワークを利用して、実際に医療情報の相互通信・共有化等の実験調査を行い、それを基に臨床研究加速のための課題を抽出し、課題解決に向けた対応策を見出す調査研究を行う。 (実施予定期間 平成22年度)	内閣府

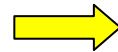
社会還元加速プロジェクトに係る調査研究

実施期間:平成22年度

社会還元加速プロジェクトとは

従来の問題点:

要素技術としては確立しつつあるものの、それらを統合し
もう一步進めた形での成果を国民が享受できていない。



総合科学技術会議が中心となり、関係府省の融合・官民連携の下
異分野融合した技術の研究開発とシステム改革を一体的に進め
実証実験を通して成果の社会還元を加速

社会還元加速プロジェクトの進め方

総合科学技術会議有識者議員をプロジェクトリーダーとするタスクフォース(TF)会合において行う事項

- (1) 各省施策の調整と指示
- (2) 技術開発とシステム改革等を盛り込んだ詳細なロードマップの策定

社会還元加速プロジェクトに係る調査研究

総合科学技術会議が中心となって、社会還元加速プロジェクトを効果的に遂行していくために、以下の2項目を実施する。

- (1) 関係府省を有機的に連携させる、タスクフォース会合の運営
- (2) 国内外の関連する技術・法律・市場等の最新動向や、プロジェクトを推進する上で必要となるシステムとその効果の評価方法等、プロジェクト推進の基礎となる調査研究
 - ① 災害情報通信システムの実証実験・評価に係る調査研究
 - (i)各府省災害情報システムの統合運用に関する調査・研究 (ii)モデル都市の選定・実証実験の実施および課題分析
 - ② 社会を豊かにする「在宅医療・介護」関連機器等の研究・開発と実用化に関する調査研究
 - (i)介護・福祉機器等に関する利用者ニーズの調査 (ii)先進的な介護・福祉機器等の成長性・市場等についての調査
 - ③ 自動音声翻訳システムの普及展開に向けたコミュニケーション支援範囲に関する調査研究
 - (i)システムによるコミュニケーション支援可能範囲の目標の詳細化と費用対効果の調査



医療情報の集約化とネットワーク化による臨床研究の加速に関する調査研究

【新成長戦略(基本方針)～輝きのある日本へ～】(平成21年12月30日、閣議決定)

☆ ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

- ・ 日本発の革新的な医薬品、医療・介護技術の研究開発推進

【現状】

○臨床研究・治験の推進・加速が不可欠

- ・ 多数の症例が必要であるが、多施設共同研究の実施が進んでいない。
- ・ 電子カルテ等電子化医療情報の医療機関での活用が不十分。
- ・ 診療情報の臨床研究への活用も進んでいない。

- ・ 医療情報の電子化とネットワーク化により、大量の医療情報の継続的な収集・解析を実現
- ・ 複数医療機関による臨床研究・治験の加速
→ 医薬品等の実用化の迅速化

【調査研究の内容】

《医療機関ネットワークの利用による医療情報の活用》

- ・ 大学附属病院等を中核として、地域中核病院等10カ所を結んだ最新のITネットワークを活用し、電子化医療情報を試行的に集積・分析する。
- ・ 必要なシステムの変更(暗号化)、医療情報の処理に伴う追加業務等について検討するとともに、通常の臨床研究・治験と比較検討する。
- ・ 臨床研究・治験の加速のための電子化医療情報の効率的活用法の検討。

【研究成果の有効活用】

- ・ 本調査研究の結果より、効率的な医療情報の電子化とネットワーク化を実現し、大規模な医療情報の活用による臨床研究加速が可能となる。
- ・ 本調査研究成果は、地域の医療機関、大学病院、NCと共同で、臨床研究及び疫学調査等を行う際に活用できる。
- ・ 本調査研究の成果を発展させることにより、地域医療の水準を上げ、医療機関の機能分化にもつながることが期待される。